

エコアクション21 環境経営活動レポート



2023年度 会社スローガン優秀賞
資源は有限 エ夫は無限 ムダを無くして コスト削減



【活動期間】

2022年度(2022年04月～2023年03月)

発行日：2023年4月21日

目 次

【1】 環境経営方針	P3
【2】 組織の概要及び対象範囲	P4
【3】 実施体制&役割と責任	P5
【4】 環境経営目標	P6
【5】 環境経営活動計画	P7
【6】 環境経営目標と実績	P8
【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針	P9～13
【8】 環境関連法規等の遵守状況	P14
【9】 環境経営活動パフォーマンス	P15～17
【10】 代表者による全体評価と見直し結果	P18

【1】環境経営方針

環境経営方針

〈基本理念〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、半導体関連事業において常に一步先の品質力・技術力・コスト競争力の向上を目指し、「かけがえのない地球環境」を守るため、全社一丸となって世の中の環境負荷低減に努めます。

〈行動指針〉

『エコアクション21』に基づく環境経営システムに則り、環境経営目標及び環境経営計画を定めると共に、下記の項目を設定し必要に応じて見直ししながら、調達から廃棄に至るまで地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目に取り組みます。
 - (1) 電力・資源消費に伴う二酸化炭素排出量削減。
 - (2) 廃棄物排出量削減とリサイクル推進に努めます。
 - (3) 水資源の使用量削減。
 - (4) 原材料や事務用品のグリーン製品の購入推進。
 - (5) 製品・サービスに関する環境配慮。
 - (6) 化学物質の適正管理
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. ホームページ等を通じて環境活動の取組状況を社内外に伝達する。
4. 私たちは、この環境経営方針を実現するため、環境経営目標・活動計画計画を定めると共に全社員に周知し継続的な改善に努める。

制定：2013年08月01日

改訂：2020年04月01日

大分デバイステクノロジー株式会社
代表取締役 安部 征吾

【2】組織の概要及び対象範囲

〈組織の概要〉

1) 名称及び代表者

会社名：大分デバイステクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 安部 征吾

2) 所在地

本社工場(第二工場)：大分県大分市大字野津原1660番地

第三工場：大分県大分市大字野津原1608番地

3) 環境管理責任者及び担当者(事務局) 連絡先：097-588-1153

環境管理責任者 業務統括 取締役 荒木 淳二
事務局 管理グループ 小野 伸一

4) 事業内容

半導体アセンブリ事業、半導体試作・開発サポート事業

5) 事業規模

	全体	第二工場	第三工場
売上高(百万円)	1,075	—	—
従業員(名)	129	93	36
延べ床面積(m ²)	4,942	2,841	2,101

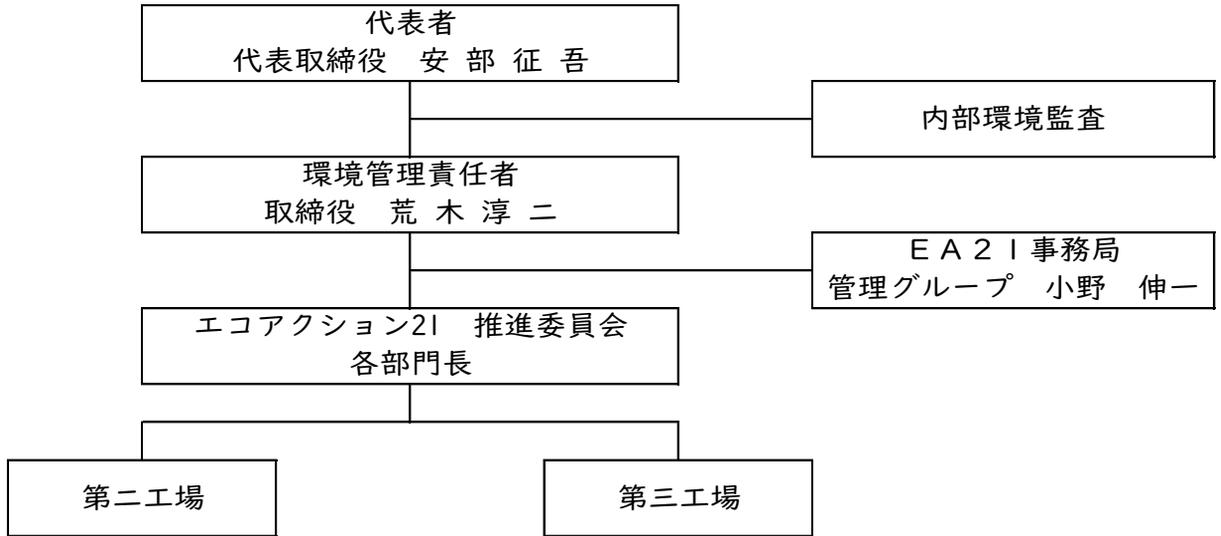
【注】従業員＝常勤役員、社員、パートなどすべての役職員を含む
売上高は2022年度、従業員数、延べ床面積は 2023年3月末現在。

6) 会計年度 【期首】8月1日 ～ 【期末】7月31日

7) 環境年度 4月1日 ～ 3月31日

8) 対象範囲 全組織、全事業活動

【3】 実施体制 & 役割と責任



担 当	役割 ・ 権限 ・ 責任
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営方針を定める ・ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営活動レポートの承認 ・ 環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 内部監査員の任命
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・ 環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・ エコアクション21推進委員会の責任者 ・ 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・ 環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認 ・ 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・ 問題点の是正及び予防処理の承認 ・ 環境経営活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・ 環境関連文書、記録の管理 ・ 環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・ 環境経営活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会 各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標、環境経営活動計画の伝達 ・ 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・ 環境経営活動に関する意見交換 ・ 自部門における環境経営活動の実施 ・ 目標達成状況を委員会に報告する ・ 自部門に必要な手順書などの作成、管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針・目標などの理解と自らの役割を自覚する ・ 自主的、積極的に環境経営活動に参加する

【4】環境経営目標

各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日

環境方針番号	選択課題	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)	
		実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)			
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)	2,154,087	2,132,546 △1.0%	2,111,005 △2.0%	2,089,464 △3.0%	
	電力消費量削減 (kWh)	4,376,277	4,332,514 △1.0%	4,288,751 △2.0%	4,244,989 △3.0%	
	化石燃料 消費量 削減 (L)	A重油	17,200	17,028 △1.0%	16,856 △2.0%	16,684 △3.0%
		ガソリン	2,958	2,928 △1.0%	2,899 △2.0%	2,869 △3.0%
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	24,230	23,988 △1.0%	23,745 △2.0%	23,503 △3.0%
	一般廃棄物 排出量削減	360	356 △1.0%	353 △2.0%	349 △3.0%	
3	水使用量削減 (m ³)	1,869	1,850 △1.0%	1,832 △2.0%	1,813 △3.0%	
4	グリーン購入の推進	資材や消耗品の購入時にはグリーン購入に配慮する				
5	製品・サービスに関する 環境配慮	パワーデバイスの開発				
6	化学物質の適正管理	化学物質を適正に管理する				

※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の2020年度CO2調整後係数0.480kg-CO2/kWh に拠る。

【5】環境経営活動計画

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		対象部門
1	二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	1	デマンド管理（見える化）ツール導入	全部門
			2	工場内照明の節電 LED更新	
			3	空調の適正温度管理 （夏季28℃ / 冬季20℃）	
			4	空調機フィルターの定期的清掃	
			5	電気受給契約の適正管理	
			6	空調機用チラー省エネTYPEへ更新	
			7	電力使用量の把握と適切管理	
	化石燃料消費量削減	1	A重油の使用量把握と適切管理		
		2	ガソリンの使用量把握と適切管理		
		3	エコドライブの周知		
2	産業廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導（有価物への転換）	全部門	
		2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
	一般廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導		
		2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
		3	書類のペーパーレス化		
3	水使用料削減		1	使用量把握と適切管理	全部門
			2	水回りに節水ラベルの貼付	
			3	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検	
4	グリーン購入の推進		1	グリーン商品の積極的購入	全部門
			2	環境配慮製品の開発・提供	
5	製品・サービスに関する環境配慮		1	パワーデバイスの開発	全部門
			2	住宅太陽光発電設備 定期点検	
6	化学物質の適正管理		1	化学物質を適正に管理する	全部門

【6】環境経営目標と実績

【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針番号	選択課題	2021年度 (令和3年)		2022年度 (令和4年)		評価
		実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)	実績値 % (目標達成率)		
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)	2,154,087	2,132,546 △1.0%	2,057,708 103.6%	○	
	電力消費量削減 (kWh)	4,376,277	4,332,514 △1.0%	4,168,542 103.9%	○	
	化石燃料 消費量削減 (L)	A重油	17,200	17,028 △1.0%	18,135 93.9%	△
		ガソリン	2,958	2,928 △1.0%	3,146 93.1%	△
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	24,230	23,988 △1.0%	24,780 96.8%	△
		一般廃棄物 排出量削減	360	356 △1.0%	342 104.1%	○
3	水使用量削減 (m ³)	1,869	1,850 △1.0%	1,552 119.2%	○	
4	グリーン購入の推進	資材や消耗品の購入時にはグリーン購入した				○
5	製品・サービスに関する 環境配慮	パワーデバイス開発に取り組んだ				○
6	化学物質の適正管理	化学物質を適正に管理した				○

評価：○=達成（100%以上）、△=努力した（100%未満～90%以上）、×=未達成（90%未満）
 ※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の2020年度CO2調整後係数0.480kg-CO2/kWhに拠る。

【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針①

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
I	CO2 排出量 削減	1 デマンド管理(見える化)ツール導入	【取組結果】 ・デマンド監視装置を継続活用。 ・電力受給契約の適正管理。 【今後の方針】 ・今後も電力消費量の削減を継続していく。	全部門
		2 工場内照明の節電 LED照明更新		
		3 空調の適正温度管理 (夏季28℃/冬季20℃)		
		4 空調機フィルターの定期的清掃		
		5 電気受給契約の適正管理		
		6 空調機用チラー省エネTYPEへ更新		
		7 電力使用量の把握と適切管理		
	化石燃料 消費量 削減	1 A重油の使用量把握と管理		
		2 ガソリンの使用量把握と管理		
		3 エコドライブの周知		

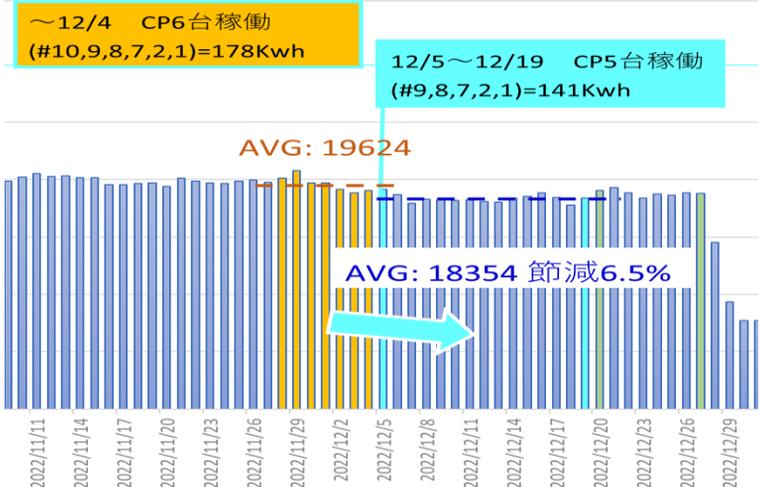
取組I 1-5：電気受給契約の適正管理

2022年7月 九州電力 電力見える化(電衛門)ツール運用開始 PC画面

電力量をPC画面で15分単位/30分毎



左記データを集計 日単位推移



【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針②

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門	
2	廃棄物 排出量 削減	産業 廃棄物	1 分別基準を基に分別指導 (有価物への転換)	【取組結果】 ・ 会議資料は、PDF (電子ビューアー) 及び両面印刷を行った。 【今後の方針】 ・ 今後も廃棄物の定量把握 を行い、 分別徹底を行う。	全部 門
			2 工場内の分別廃棄を徹底し、 定量把握を継続		
		一般 廃棄物	1 分別基準を基に分別指導		
			2 工場内の分別廃棄を徹底し、 定量把握を継続		
			3 書類のペーパーレス化		

取組2 2-3：書類のペーパーレス化

書類ペーパーレス化展開

- ・ 中期計画書類資料/事業進捗会議資料 (会議用)
- ・ ODTつうしん (全従業員配布用) /(OWS)発行書類



(OWS)発行書類

単位:枚

アイテム	合計
OWS発行枚数	5,377
OWS発行枚数 (事務所バックアップ分)	599
OWS付表数 (事務所バックアップ分)	495
OWSリスト (事務所バックアップ分)	304
OWS処理票枚数	5,738
OWS配布リスト	1,756
OWS配布書	477
OWS発行・廃止依頼書	121
関連OWS申請書	30
その他	4,618
削減枚数(枚)	19,515
削減廃棄物排出量(kg)	58

<OWS電子化例>



2022年4月～2023年3月
実績：58.0kgの削減

【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針③

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
3	水使用料削減	1	使用量把握と適切管理	【取組結果】 ・空調加湿装置の水使用量削減 ・節水ラベル表示 【今後の方針】 ・使用量を確認	全部門
		2	水回りに節水ラベルの貼付		
		3	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検		

取組3：節水活動の啓蒙継続

2ヶ月毎の各工場水道量変化量確認



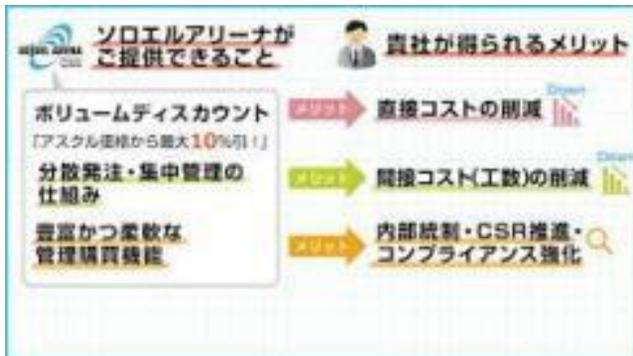
節水ラベル



【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針④

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
4	グリーン購入推進	1	グリーン商品の確認・購入	【取組結果】 ・3社購入での活動を行う 【今後の方針】 ・更なる推進周知を行う	全部門
		2	環境配慮製品の開発・提供		

取組4：環境対応マーク商品の購入を推進継続



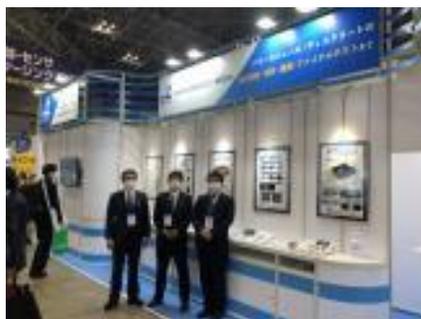
【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針⑤

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
5	製品・サービスに関する環境配慮	1	パワーデバイスの開発	【取組結果】 ・オンライン商談及び来場者への受注活動。 ホームページ毎月更新中 https://www.odt.co.jp/	全部門
		2	住宅太陽光発電設備 定期点検		



取組5：パワーデバイスの開発

10年連続出展！ 第37回 ネプコン ジャパンに出展しました！
 1月25日(水)～27日(金)に東京ビックサイトで行われた第37回ネプコンジャパン『半導体・センサパッケージング技術展』に出展してきました。
 約1,400社にも及ぶ企業が参加する日本最大規模の展示会です。
 新型コロナの影響で前々回、前回と落ち込んだ来場者数もコロナ禍前と同じぐらいに大きく回復となりました(約3万人@前回 / 約7万人@今回)。
 (ODT)ブースも154人(前回比200%増)にもものぼり、多くのお客様にお越しいただき、次の受注活動に繋げていくことが出来ました。



営業グループ



(ODT) ブース



お客様来場

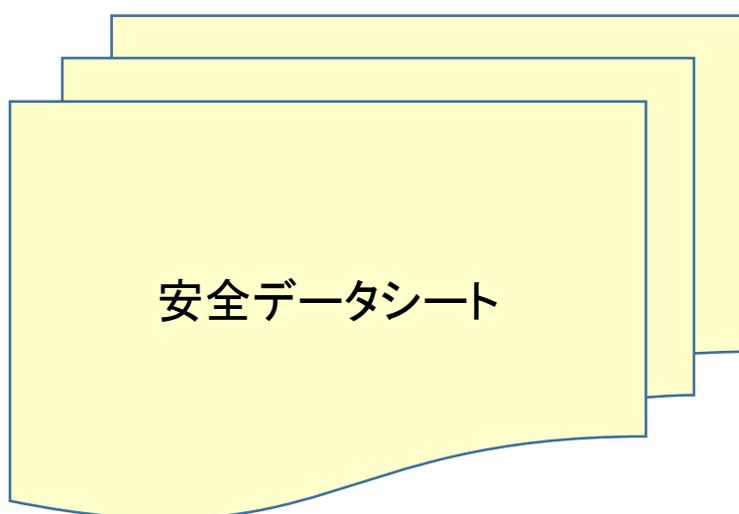
【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針⑥

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
6	化学物質の適正管理	1 化学物質を適正に管理する	【取組結果】 ・化学物質の使用時 SDS把握と適正保管 【今後の方針】 ・化学物質の使用知識向上と法令遵守	全部門



取組6：化学物質を適正に管理する

化学物質の含有率は、対象となる製品の容器に記載された成分表をもとに把握すると共に製造元や卸売業者、小売業者にSDS（安全データシート）を要求し、環境に配慮した適正管理をしている。



【8】環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守すべき関連法規

※適用される主な環境関連法規等は次のとおり。

法律等の名称	当社の対応自主基準	管理責任者 責任部門	評価時期	証拠となる 記録等	適否 要○印
廃棄物処理法	基準に適合した措置 (表示板)	管理 グループ	日常点検	現物監視	○適 ・ 否 3/22
	委託基準の遵守	管理 グループ	毎年4月	委託契約書 許可証写し	○適 ・ 否 3/22
	排出部門が記載 ファイルに保管	管理 グループ	毎年4月	産業廃棄物 管理票 (マニフェスト)	○適 ・ 否 3/22
	毎月1回チェック	管理 グループ	1回/月	産業廃棄物 管理票 未回収報告書	○適 ・ 否 3/22
	毎年 4月1日～6月30日 の間に提出	管理 グループ	1回/年	交付等 状況報告書	○適 ・ 否 3/22
浄化槽法	規制遵守 (法定点検)	管理 グループ	1回/年	届出控	○適 ・ 否 3/23
	専門業者に委託	管理 グループ	1回/年	点検・検査記録	
騒音規制法	規制遵守 (コンプレッサ7.5kw以上)	管理 グループ	1回/年	届出控	○適 ・ 否 3/23
消防法	規制遵守 (消防設備点検)	管理 グループ	1回/年	届出控	○適 ・ 否 3/23
電気事業法	規制遵守 専門業者に委託し、 法定自主検査実施	管理 グループ	1回/年	自主点検記録	○適 ・ 否 3/23
フロン排出抑制法	エアコン室外機の 自主定期点検 (廃棄時の適正処理)	管理 グループ	4回/年	自主点検記録	○適 ・ 否 3/29

(2) 環境関連法規制の遵守状況

チェックリストにより運用期間の法令違反なし、過去3年間関連機関からの指導等もなし。

【9】環境経営活動パフォーマンス

取組1：異常対応訓練（総合避難訓練）

本年度の全社一斉の総合避難訓練を10月21日(金)に実施しました。防災マニュアルをベースとしながら、それぞれ担当別にシュミレーションを行い、また役割を確認しつつ避難経路の確認と誘導を徹底して行いました。更に負傷者の搬送講習と消火訓練も実施し、より実践的な構成となりました。

このような訓練を通して、少しでもパニック状態を抑制(軽減)できるよう各々が意識し、また避難経路(自分の逃げ道)の確保ができるよう常日頃から冷静に行動できるよう備えることが大切だと感じました。



負傷者の搬送講習



初期消火班による消火訓練



人員点呼/総評

取組2：献血の協力

前回同様に大分県赤十字血液センターから依頼があり、4月7日(木)に献血バス来社しました！

近年、大分県でも少子化の進展による献血可能人口の減少と高齢化に伴う輸血医療の増加から、若年層の献血推進が一層重要となっています。

そうした中で当日は有志16名による移動献血にご貢献頂き、無事に終えることが出来ました。



献血車両



血圧測定中



問診中

【9】環境経営活動パフォーマンス

取組3：BCP対応 非常用発電機の購入設置(2023年2月)

災害及び台風シーズン（6月～9月）の送電線断線による停電に備え、各工場に発電機を設置し通電の確保を実施する、通電対象設備は樹脂冷蔵庫等。



第2工場



第3工場

取組4：フロン排出抑制法に基づく定期点検実施

（特に電動機出力が7.5kW以上の機器は有資格者による1回/3年定期点検が必要）

漏洩点検台数/実施日：7台、2022年10月27日

- ①事務所 7.5kw×1台
- ②大会議室 7.5kw×1台
- ③休憩室 7.5kw×1台
- ④一般室空調機 9.1kw×2台
- ⑤クリンルーム空調機 35.2kw×2台



定期点検風景

<点検結果>

据付状況、電気系統、冷媒系統、本体機器運転状況等異常ありませんでした。

取組5：大分県立大分工業高等学校の2年生の職場体験実習

2022年9月7日(水)～9月9日(金)の3日間、大分県立大分工業高等学校の電子科の学生が職場体験実習を行いました。



工場見学クリーンルーム



実習（不良品見分け）



先輩若手社員との座談会



会社概要説明



品質について説明



実習（ねじ締め）

取組6：大分工業高等専門学校(4年生)から工場見学

2023年1月18日におおいたLSIクラスター主体となって、産学官の「学」との連携の一環で大分高専を対象とした企業見学会が行われました。

開催の趣旨は、大分県内の中小企業を知ってもらうことで将来的に県内中小企業への就職のきっかけづくり醸成ということで(ODT)も参画しました。

当日は、大分高専から45名(学生と先生合わせて)、おおいたLSIクラスターから2名このような機会を通じて、(ODT)の活動状況をPRすることができました。



会社概要説明



質疑応答風景

【10】 代表者による全体評価と見直し結果

	項目	修正有無	評価コメント
1	環境経営方針の見直し	無	環境経営方針の見直し無し。
2	環境経営目標	無	現時点で活動目標は追加しない。
3	環境経営活動計画	無	環境経営活動計画については中期経営計画と実績を踏まえて検討する。
4	環境に関する組織	無	現時点での活動（EA推進委員会）に問題は無いと判断する。
5	環境関連法規制の遵守状況	無	運用期間の法令違反なし、また過去3年間、関連機関からの指導等も無し。

<全体評価>

今年度の環境経営目標に対しての実績の最終結果は、大項目5項目のうち未達成項目は無かった。二酸化炭素排出量削減のA重油、ガソリン消費量削減、及び、廃棄物排出量削減の産業廃棄物については努力項目となりました。改善項目として、二酸化炭素排出量削減、電力消費量削減、一般廃棄物削減、水使用量削減、グリーン購入の推進、製品・サービスに関する環境配慮については目標達成となり、環境経営活動への取組みが反映された結果となりました。

<今後の取組み>

エコアクション21の取組みをして9年以上が経過しましたが環境経営活動の取組みをして達成出来た項目、出来ない項目と様々でしたが、一度で大きな成果を出せる取組みはありません。小さな継続した取組み、小さな改善を行いエコアクション21の取組みを今後も進め地域社会にとって必要な企業でいられる様に今後も半導体に関わる事業に経営資源を集中し、会社全体の環境負荷削減へ貢献していきます。

2023年4月20日
 大分デバイステクノロジー株式会社
 代表取締役 安部 征吾